

サロンでの気づき

サロンを訪問させて頂き、気づいたこと、聞いたことなど、お伝えしたいと思います。何かお役に立てれば嬉しいです。

梅雨に入ってから、雨らしき雨が降りませんでした。ようやく恵みの雨が降り、水不足の解消になればいいですね。

6月の花といえば紫陽花が思い浮かびます。私は月に一度高知県に訪問しておりますが、6月のはじめに春野町のあじさい街道を走りましたが、約5キロに及ぶ街道沿いに植えられた色とりどりの紫陽花の花がとてもきれいでした。



さて、先日、6~7年前に研修でお世話になった京都の会計事務所の方が立ち寄られ、中村文昭氏のセミナーのCDをプレゼントしていただきました。

以前中野製菓のセミナーで聞く機会がありましたが、あらためて聞いてみて、とても感動しました。ご存じの方も多いたと思いますが、後でご紹介させていただきます。

●生き様が人をつくる

私も、永年ごひいき頂いているベテランの先生に中村文昭氏のCDの内容を一部紹介しながら、CDをプレゼントさせて頂いたのですが、先生から「気づいたこと、感じたことをすぐに実行しましたか?」と厳しい切り替えしにありました。実行しなければ意味がない。『生き様が人をつくる』その通りだと思います。

また、「何のために仕事をしているのか?」という話の中で、先生は、「お客様を綺麗にして喜んでもらうと言うより、自分がこの仕事が好きだからかな。街を歩いていても、ついついヘアスタイル、メイクに目がいってしまう。いろんなものを見ているとすぐに仕事に結びつけることが多い」とおっしゃっていました。

先日の亀山先生の勉強会でも、中小企業の社長は、趣味が仕事、仕事をしている時が一番楽しい。常にアンテナを張っていて、面白いと感じたことは、自分の仕事だったらどう活かすか?と常に考えている情熱を持った人でないと一流の経営者になれないとおっしゃっていました。

また、今のような乱世の時代は、プロだけが生きて行ける。囲碁の世界で有名な林海峰氏が名人だった頃、名人とプロ初段の違いについて質問したところ、

「先を読む」「読み」においてはプロの初段も名人も変わりません」何が違う?

「碁を投げないことでしょうか、粘りでしょうか・・・」ということとは技量ではなく精神面ということになる。紙一枚の差→天地の開きと話されたそうです。



それと先生が、最近、川島文夫氏の講習に参加され、カットを見ていて、ふと気づいたそうです。

手でカットはしてるけど実は心でカットをしていると感じたそうです。

親からカットは上手い方じゃないよ。と言われる私も、心でカットしていることに気づいたそうです。

最後に中村文昭氏のCDの内容ををご紹介させていただきます。

- やりたいこと、夢がないんだったら、人が喜ぶことをする。人の予測をはるかに上回ることをする。体を動かす。→そうしているとあなたにしかできない役割が与えられる。



- 人を喜ばせることで可能性が広がる
- たくさんより一人一人に情熱を傾ける。
- 「何のために」が大切→他人との比較で悩まない。何のために→人を喜ばすためにやる
- 人は肩書きではなく、生き様が大事。人はどう生きたが葬式に出る
- どんな会社に入るか、どんな職業につくかでなく→どんな人間になるのか、何のために仕事をするのか。なくてはならない人間になって幸せになる。
- その人が何のためにやるのか、何のためにつくったのか→その情熱に人はついてくる。
- やる気ではなく、本気かどうか。
- 日々の行動→遠くのかっこいいことではなく、今を頑張る
- 頼まれごとは、試されごと
- 体を動かすこと→特に若い人は動くことが大事。
- どんな仕事でも日本一を目指して取り組む
目の前のことに一所懸命に取り組む。やると決めたら命懸け思うようにならない時は会社や職業を変えるのではなく、自分を変える。
そうすると周りが変わる
人の心を動かすのは情熱です。
- スペシャル素直な人は成功する
いろんなアドバイス、情報、頼まれごとが入ってくる
- お金は人に会うために使う
- 商売繁盛の秘訣は人間力

元気が出るCDです。お聞きになりたい方は、お申し付け下さいませ。

■ 今月のおすすめ本

いつもの山の素敵な本屋さんに薦めていただいた本をご紹介させていただきます。

世界一の映画館と
日本一のフランス料理店を
山形県酒田につくった男は
なぜ忘れ去られたのか

岡田芳郎



酒田、雄大な庄内平野の最上川河口に位置する街には、世界に誇れるものがあった。淀川長治や荻昌弘が羨んだという映画館。そして開高健や丸谷才一、土門拳が愛したという料理店。なんとそれらは一人の男—佐藤久一がつくったものだった。酒田大火の火元となった映画館が彼の波乱に富んだ人生を象徴する。

世界一の映画館と日本一のフランス料理店を
山形県酒田につくった男はなぜ忘れ去られたのか
岡田 芳郎著

これからどんどん暑くなって参りますが、お身体に気をつけて頑張ってください。

